



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.85
2017年 8月号

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

SAJツアー、孤児院農場実習開催！！

皆さんこんにちは。8月はイベントが盛りだくさんです。孤児院の子ども達の農業実習、SAJツアー、ボランティアの受け入れ、田植え等例年になく大忙しの月となりました。普段は見るできない様々な農場の風景をたくさん見ることができました。今月は各種イベント等について報告したいと思います。



孤児院の農場実習の様子

◇孤児院農場実習受け入れ

8月から孤児院の子ども達の農場実習が開始されました。男女別に8~15名の4つのグループに分かれ、1グループ1週間、計4回受け入れを行いました。前半の2グループは主にレモングラス畑の除草や収穫等の管理作業を中心に作業してもらいました。後半の2グループは水稻の苗の結束、田植えを中心に作業してもらいました。暑い炎天下の作業に子ども達もとても疲れた表情をしていましたが、皆とても真面目に作業を行っていました。農業実習が終わった後に、それぞれのグループでミーティングを行います。全員が実習を通じ、何かを学んでもらえたらと思います。



SAJツアーの様子

◇SAJツアー

8月、SAJツアーが開催されました。今回は例年よりも参加者が多く、たくさんの方にご来場いただきました。まずレモングラス畑を見て頂き、実際に匂いをかいで頂きました。次に試験栽培をしているシュガーソルガム畑を案内し、堆肥場、蒸留棟と農場内を簡単に説明して廻りました。今回孤児院農場実習の合間にSAJツアーがあり、子ども達が農場で元気に真面目に働いている様子を話すと、里親様を中心に皆さん大変喜んでおられました。お客様に次回また来ていただけるよう、次回ももっと準備に力を入れたいと思います。



田植えの様子

◇田植え開始

8月下旬、SAJFarmでは田植えを開始しました。今年には6枚の水田約1haを農業実習で来ている孤児院の子ども達に手伝ってもらいました。空から降り注ぐ日差しと、水田の水面から来る照り返しに、孤児院の子ども達も農場スタッフも、滝のような汗を流しながら田植えを行いました。普段は2時間おきにとる休憩も、この時ばかりは1時間おきに休憩をとり、日陰に入り水分補給をして身体を休めます。いつもは笑っている子ども達の表情も、この時ばかりは厳しい顔つきをしていました。しかし田植えが終わると、皆安堵したように表情を変え、皆いつものように笑顔に戻っていました。



契約農家さんの畑を廻る鈴木さん

ボランティア鈴木さん来場

8月SAJFarmではボランティアの鈴木さんに4日間農場で働いてもらいました。ボランティアの内容は農場スタッフと一緒にレモングラスの収穫、調整作業や、倉庫、機械庫の掃除、整理整頓等、また写真が趣味ということもあり農場の写真を撮ってもらいました。また鈴木さんからは現地の人や現地スタッフの生活の様子を知りたいとの話があり、契約圃場を廻る際に一緒に契約農家さんのところへ同行してもらいました。今回のボランティアは農場では4日間と短い期間になってしまいましたが、農場での生活の中で鈴木さんに何か一つでもプラスになることがあればいいと思います。



トラックで土を運搬している様子

◇道路補修

8月は雨期真っ盛り。雨が長く降り続くこともあり、農場のいたるところで、トラックが走れないようなぬかるみが多数できます。今回ツアーのお客様の来場を控え、農場の近くで土を採取している業者からトラックで土を運んでもらい、ぬかるみのひどい場所に土を盛ってもらって道路の補修を行いました。トラック1杯で約4m³の土があり、合計2杯約8m³の土を運んで来てもらいました。土は主に宿舍の周りや、一番ぬかるみのひどい場所に盛ってもらい、レーキや鍬を使って凸凹を平らにしました。雨期は農場のいたるところにぬかるみができ、イタチごっこになりますが、少しずつ道路も整備していきたいと思っています。